No. 513
一人は万人のために
万人は一人のために
みんなの医療
2016.3.MAR
発行　長野医療生活協同組合
〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493
E-mail:chiiki@healthcoop-nagano.or.jp
ホームページ:http://www.healthcoop - nagano.or.jp
●現勢(2016年2月17日現在)生協組合員…6万3389人　出資金…15億6033万円

事業所

長野中央病院
南長池診療所
稲里生協クリニック
老人保健施設ふるさと
徳間デイサービスたんぽぽ
三本柳デイサービスミント
戸倉デイサービスゆいっこ
グループホーム栗田ゆうゆう

長野中央介護センターつるが
在宅総合ステーションながの
（ケアマネジャー・訪問介護）
訪問看護ステーションながの
つるがリハビリセンター
ショートステイつるが
高齢者住宅つるがの風

3・11から5年、相次ぐ原発再稼働
福島の怒りをともに

2011年3月11日、東日本大震災での東電福島第一原発事故から5年がたちました。1月30日、長野市で「いま、あらためて見直そう！福島原発事故の問題点、そして現状を」と題する講演が行われました。被災者で福島県高齢者運動連絡協議会事務局長の伊藤洋さんが、川内（せんだい）と高浜の原発再稼働への怒りを込めて福島の実態を語られました。一部を紹介します。

講演する伊藤さん

増え続ける犠牲者、戻れない故郷

今年1月現在、福島の犠牲者は3841人。関連死は直接死を大きく超え、自死者は80人にもなりました。突然ふるさとを追われ生業を奪われた怒り、不安、絶望。家族は引き裂かれ、見知らぬ土地の粗末な仮設住宅での先の見えない生活が心身に与える影響は計り知れません。政治家や電力会社社員が「原発事故で一人も死んでいない」と言うのは誤りです。

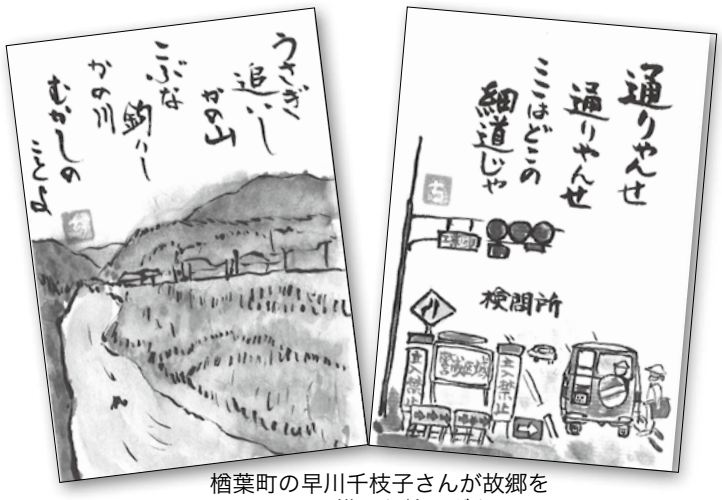
楢葉町や川内（かわうち）村など避難指示解除で帰る人もいます。しかし、実態は更地が目立ち、夜は真っ暗で治安上の問題もある。県の産業は農業、漁業、観光業は激減、森林は除染されず、毎年4～5万円売り上げのあったコシアブラの出荷もできません。

住民の中の深刻な亀裂

自然放射線量を超える人口放射線量を大きく超える人口放射線量にさらされて生活するストレスに加え、地域が原発からの距離、放射線量、賠償金で分断されています。「住み慣れた地に残る」「子どもの健康が心配で避難する」…どちらを選択しても悩みや葛藤は尽きません。

2年間の甲状腺がんの本格検査が終わり、子どもの健康被害は少ないという結果が出ました。だからといって原発を許すのではないのですが、それを言うと「政府や東電側に立つのか」と言う人もいます。本音を話せず沈黙する人も多いのです。

福島第一原発事故は、日本史上最大にして最悪の公害です。政府と東電の責任を追及する「生業を返せ、地域を返せ！」を合言葉にした訴訟、県と全自治体が県内10基の原発廃炉を決議し、「オール福島」の運動をすすめています。



楢葉町の早川千枝子さんが故郷を思って描いた絵ハガキ

福島原発避難者訴訟原告団意見陳述集

「福島切り捨て」は原発再稼働の口実

福島第一原発は収束の目途がたちません。しかし安倍政権は、昨年6月、17年3月までに帰宅困難区域以外の居住制限区域、避難指示解除準備区域の避難指示解除を閣議決定し、実態を無視した賠償の打ち切り、生活支援打ち切りを決めました。

政府は2030年のエネルギーの原発比率を20～22％としました。これは現在の43基に加え、福島第二と青森大間（おおま）原発の新設を含む数です。福島切り捨ては再稼働の口実です。原発を許さない「オール福島」のたたかいは急務です。（談）

待合室

12月の福島の空は澄み切っていました。道路わきに広がる田は、来春の田植えに向けて休んでいるように見えました。点在する家々に人の気配は全くなく、田の先に積み上げられた黒い「プレコンパック」が処理も進まず長い帯のように連なっています。きれいに耕されているように見えた田も除染のために表土を削り取られたから▼「福島は完全にコントロールされている」東京オリンピック・パラリンピック招致での安倍総理の言葉です。帰宅は許されても作物は作れず、生活用品の調達もままならない町で、生活できるわけもありません。今年で5年、漏れ続ける汚染水対策も進まないなか、まともな住民説明もなされないままに川内、高浜原発は再稼働されてしまいました▼3.11などなかったかのような政府のやり方に、夏の参議院選挙では新たな政府に切り替える道筋を作るために力を合わせねばと強く思いました。（京）